



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年4月28日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	202,259	△2.1	9,219	△23.2	9,661	△23.2	5,639	△29.2
2022年3月期	206,549	-	12,002	-	12,572	-	7,961	-

2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	197.42	-	3.5	4.1	4.6
2022年3月期	278.75	-	5.1	5.4	5.8

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	238,408	161,813	67.9	5,665.24
2022年3月期	233,075	157,763	67.7	5,523.42

(参考) 自己資本 2023年3月期 161,813百万円 2022年3月期 157,763百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	9,656	△3,427	△4,217	33,230
2022年3月期	1,180	△3,496	△4,556	31,218

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	28.00	-	28.00	56.00	1,599	20.1	1.0
2023年3月期	-	28.00	-	28.00	56.00	1,599	28.4	1.0
24年3月期(予想)	-	29.00	-	29.00	58.00		28.7	

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	103,669	△0.9	6,214	△7.5	6,403	△6.3	3,938	△6.3	137.88
通期	201,000	△0.6	9,450	2.5	9,890	2.4	5,770	2.3	202.03

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	29,784,400 株	2022年3月期	29,784,400 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	1,221,812 株	2022年3月期	1,221,812 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	28,562,588 株	2022年3月期	28,562,588 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和されるなど経済活動が正常化に向かいつつある中、依然としてエネルギー価格高騰や為替の急激な変動など、先行き不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、電気代の上昇や生活必需品の物価上昇により、消費者の節約志向も高まっており、経営環境としては引き続き厳しい状況となっております。

営業の概況としましては、例年より早い梅雨明けや年度後半での気温低下などにより、季節商品の販売が好調に推移しました。また、主力の園芸用品が好調に推移しており、生活用品も販促強化により回復基調となっております。一方で、新型コロナウイルス感染対策商品や巣ごもり関連商品の需要低下の影響などにより、売上高は前年を下回る結果となりました。

また、店舗展開については、5店舗の新設、6店舗の増床改装、5店舗の閉鎖を行い、当事業年度末における店舗数は34府県にわたる359店舗となりました。

これらの結果、売上高は2,022億59百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は92億19百万円(前年同期比23.2%減)、経常利益は96億61百万円(前年同期比23.2%減)、当期純利益は56億39百万円(前年同期比29.2%減)となりました。

(セグメント別状況)

①資材・DIY・園芸用品

主力の園芸用品が刈払機や除草剤などの防草除草商品を中心に引き続き好調に推移しました。一方で、木材や大工道具などが苦戦しました。その結果、売上高は937億42百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

②生活用品

早期の梅雨明けによる冷房用品の販売や冬場の気温低下による暖房用品の販売で季節用品が好調に推移しました。またアウトドア用品も年間を通じて好調に推移しました。一方で、家庭用品や日用品などが苦戦しました。その結果、売上高は512億28百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

③家具・ホームファッション用品

冬季にはコタツ販売が好調でしたが、一方で、節約志向の高まりや巣ごもり関連商品の需要低下により、小物家具やフロアカバリングなど全般的に苦戦しました。その結果、売上高は395億67百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

④その他

自転車についてはスポーツ車やヘルメットなどのパーツ類も大きく伸びたほか、ペット用品も好調に推移しました。一方で、カー用品などが苦戦しました。その結果、売上高は177億20百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

商品部門別の売上状況は、次のとおりであります。

区分	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
資材・DIY・園芸用品	95,123	46.1	93,742	46.3	98.5
生活用品	52,003	25.2	51,228	25.3	98.5
家具・ホームファッション用品	41,485	20.1	39,567	19.6	95.4
その他	17,936	8.6	17,720	8.8	98.8
合計	206,549	100.0	202,259	100.0	97.9

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、前事業年度末より53億33百万円増加し、2,384億8百万円となりました。これは主として、商品が27億7百万円、現金及び預金が20億11百万円増加したことによるものです。

負債は、前事業年度末より12億82百万円増加し、765億94百万円となりました。これは主として、設備関係支払手形が14億24百万円増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末より40億50百万円増加し、1,618億13百万円となりました。これは主として、利益剰余金が40億39百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して20億11百万円増加し、332億30百万円となりました。各キャッシュフローの状況とその要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、96億56百万円（前年同期比で84億75百万円の増加）となりました。この主な要因は、税引前当期純利益90億3百万円、減価償却費56億29百万円に対し、棚卸資産の増加額27億15百万円、法人税等の支払額21億69百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、34億27百万円（前年同期比で69百万円の減少）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出31億57百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、42億17百万円（前年同期比で3億39百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額15億99百万円、リース債務の返済による支出13億58百万円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	62.3	64.4	64.7	67.7	67.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	20.4	12.6	25.9	20.8	21.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.2	2.3	1.0	20.5	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	47.3	83.9	207.4	10.5	90.0

(注) 1. 各指標の計算式は以下のとおりです。

自己資本比率	: 自己資本/総資産
時価ベースの自己資本比率	: 株式時価総額/総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	: 有利子負債/営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	: 営業キャッシュ・フロー/利払い

- 各指標はいずれも財務数値により算出しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 有利子負債は、貸借対照表上に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
- 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢不安の影響による物価高等に加え、他業態との競争激化、少子高齢化の進行や人口減少などにより小売業を取り巻く環境は厳しいものと思われま

す。2024年3月期の業績予想につきましては、売上高2,010億円（前年同期比0.6%減）、営業利益94億50百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益98億90百万円（前年同期比2.4%増）、当期純利益57億70百万円（前年同期比2.3%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業展開は現在国内に限定されており、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,111	36,123
売掛金	3,901	4,446
商品	60,845	63,553
貯蔵品	15	6
前払費用	972	989
未収入金	208	90
その他	693	543
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	100,744	105,748
固定資産		
有形固定資産		
建物	129,568	132,376
減価償却累計額	△67,679	△70,347
建物(純額)	61,889	62,028
構築物	23,231	23,393
減価償却累計額	△19,267	△19,608
構築物(純額)	3,964	3,785
車両運搬具	4	4
減価償却累計額	△4	△4
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	10,517	10,659
減価償却累計額	△9,818	△10,027
工具、器具及び備品(純額)	698	631
土地	48,515	48,952
リース資産	15,150	16,309
減価償却累計額	△11,831	△12,825
リース資産(純額)	3,318	3,484
建設仮勘定	171	128
有形固定資産合計	118,557	119,010
無形固定資産		
借地権	2,585	2,588
ソフトウェア	160	126
電話加入権	47	47
リース資産	501	481
その他	78	68
無形固定資産合計	3,372	3,312
投資その他の資産		
投資有価証券	267	283
関係会社株式	21	21
出資金	0	0
破産更生債権等	1	1
長期前払費用	290	278
繰延税金資産	3,585	3,504
敷金及び保証金	6,226	6,241
建設協力金	11	8
その他	8	8
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	10,401	10,337
固定資産合計	132,331	132,660
資産合計	233,075	238,408

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	14,881	14,132
買掛金	14,156	13,015
短期借入金	19,585	18,925
1年内返済予定の長期借入金	599	99
リース債務	1,209	1,326
未払金	3,567	4,236
未払法人税等	517	1,670
未払消費税等	-	446
契約負債	3,209	3,264
予約預り金	1,268	1,074
預り金	301	332
前受収益	57	55
賞与引当金	1,043	1,042
役員賞与引当金	28	31
設備関係支払手形	1,758	3,183
その他	358	354
流動負債合計	62,545	63,190
固定負債		
長期借入金	108	8
リース債務	2,740	2,858
退職給付引当金	3,063	3,020
役員退職慰労引当金	384	686
資産除去債務	6,074	6,454
その他	396	375
固定負債合計	12,767	13,404
負債合計	75,312	76,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金		
資本準備金	4,223	4,223
資本剰余金合計	4,223	4,223
利益剰余金		
利益準備金	37	37
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	610	605
別途積立金	137,000	142,000
繰越利益剰余金	14,621	13,665
利益剰余金合計	152,268	156,308
自己株式	△2,351	△2,351
株主資本合計	157,679	161,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83	94
評価・換算差額等合計	83	94
純資産合計	157,763	161,813
負債純資産合計	233,075	238,408

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	206,549	202,259
売上原価		
商品期首棚卸高	56,871	60,845
当期商品仕入高	138,713	135,391
合計	195,585	196,237
商品期末棚卸高	60,845	63,553
売上原価合計	134,739	132,684
売上総利益	71,809	69,575
営業収入	328	383
営業総利益	72,138	69,958
販売費及び一般管理費	60,136	60,739
営業利益	12,002	9,219
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	13
受取賃貸料	531	527
受取事務手数料	45	39
受取手数料	114	106
受取保険金	92	188
その他	230	135
営業外収益合計	1,027	1,010
営業外費用		
支払利息	112	107
賃貸収入原価	211	218
災害による損失	97	120
取引先補償損失	-	98
その他	35	23
営業外費用合計	456	567
経常利益	12,572	9,661
特別利益		
固定資産売却益	31	21
特別利益合計	31	21
特別損失		
固定資産除却損	62	260
減損損失	212	368
システム障害対応費用	-	51
その他	2	-
特別損失合計	277	679
税引前当期純利益	12,326	9,003
法人税、住民税及び事業税	3,730	3,288
法人税等調整額	633	76
法人税等合計	4,364	3,364
当期純利益	7,961	5,639

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	3,538	4,223	4,223	37	615	127,000	19,661	147,313
会計方針の変更による 累積的影響額							△1,435	△1,435
会計方針の変更を反映 した当期首残高	3,538	4,223	4,223	37	615	127,000	18,225	145,878
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の 積立					△4		4	-
別途積立金の積立						10,000	△10,000	-
剰余金の配当							△1,570	△1,570
当期純利益							7,961	7,961
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△4	10,000	△3,604	6,390
当期末残高	3,538	4,223	4,223	37	610	137,000	14,621	152,268

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△2,351	152,724	97	97	152,821
会計方針の変更による 累積的影響額		△1,435			△1,435
会計方針の変更を反映 した当期首残高	△2,351	151,288	97	97	151,386
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の 積立		-			-
別途積立金の積立		-			-
剰余金の配当		△1,570			△1,570
当期純利益		7,961			7,961
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△13	△13	△13
当期変動額合計	-	6,390	△13	△13	6,376
当期末残高	△2,351	157,679	83	83	157,763

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	3,538	4,223	4,223	37	610	137,000	14,621	152,268
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の積立					△4		4	-
別途積立金の積立						5,000	△5,000	-
剰余金の配当							△1,599	△1,599
当期純利益							5,639	5,639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△4	5,000	△955	4,039
当期末残高	3,538	4,223	4,223	37	605	142,000	13,665	156,308

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△2,351	157,679	83	83	157,763
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の積立		-			-
別途積立金の積立		-			-
剰余金の配当		△1,599			△1,599
当期純利益		5,639			5,639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			11	11	11
当期変動額合計	-	4,039	11	11	4,050
当期末残高	△2,351	161,718	94	94	161,813

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	12,326	9,003
減価償却費	5,657	5,629
減損損失	212	368
無形固定資産償却費	214	245
長期前払費用償却額	55	54
有形固定資産除却損	62	260
有形固定資産売却損益(△は益)	△31	△21
その他の特別損益(△は益)	2	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△30	△42
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16	302
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	0	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	△0
受取利息及び受取配当金	△11	△13
支払利息	112	107
売上債権の増減額(△は増加)	△698	△681
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,064	△2,715
仕入債務の増減額(△は減少)	△950	△1,890
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,014	760
その他の資産の増減額(△は増加)	△75	107
その他の負債の増減額(△は減少)	△656	415
その他	12	27
小計	10,152	11,919
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△112	△107
法人税等の支払額	△8,870	△2,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,180	9,656

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,408	△3,157
有形固定資産の売却による収入	48	57
無形固定資産の取得による支出	△150	△28
固定資産の除却による支出	△56	△240
資産除去債務の履行による支出	△57	-
敷金及び保証金の差入による支出	△50	△112
敷金及び保証金の回収による収入	177	96
投資その他の資産の増減額(△は増加)	2	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,496	△3,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△660	△660
長期借入金の返済による支出	△1,084	△599
リース債務の返済による支出	△1,241	△1,358
配当金の支払額	△1,570	△1,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,556	△4,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,872	2,011
現金及び現金同等物の期首残高	38,091	31,218
現金及び現金同等物の期末残高	31,218	33,230

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各店舗において主要な商品区分ごとの販売に注力し、「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」の3本柱を中心に商品の戦略を立案し店舗運営を展開しております。

したがって、「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」を報告セグメントとしており、その内容につきましては、次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	損益計算書計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	95,123	52,003	41,485	188,612	17,936	206,549	206,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	95,123	52,003	41,485	188,612	17,936	206,549	206,549
セグメント利益	34,198	15,283	16,997	66,479	5,330	71,809	71,809

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	損益計算書計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	93,742	51,228	39,567	184,538	17,720	202,259	202,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	93,742	51,228	39,567	184,538	17,720	202,259	202,259
セグメント利益	33,932	14,617	15,777	64,326	5,248	69,575	69,575

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
1株当たり純資産額	5,523.42円	5,665.24円
(算定上の基礎)		
貸借対照表の純資産の部の合計額	157,763百万円	161,813百万円
普通株式に係る純資産額	157,763百万円	161,813百万円
差額の主な内訳	—	—
普通株式の発行済株式数	29,784千株	29,784千株
普通株式の自己株式数	1,221千株	1,221千株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	28,562千株	28,562千株

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額	278.75円	197.42円
(算定上の基礎)		
損益計算書上の当期純利益	7,961百万円	5,639百万円
普通株式に係る当期純利益	7,961百万円	5,639百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式の期中平均株式数	28,562千株	28,562千株

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。